



今月の一文字

徳川恒孝氏が選ぶ
静岡の良さを表現する一文字。

静岡市を表現する漢字は「明」とします。「明るく、道理を見透し、聡明である」という意味です。



のうち、帰国を希望する全ての人を送り返すことで難関を打開して、通信使の往来が始まります。朱印船の制度を作り東南アジアとの貿易を安定化させ、ウイリアム・アダムスに命じて西洋式帆船を建造し、後にこの帆船を難破したスペイン人のフィリピン総督に提供して無事にメキシコへ帰国させました。(そのお礼にスペイン国王から送られた時計は久能山東照宮の宝物になっています。)当時の駿府には、宣教師を始めとして多くの外国人が往来していたのです。

その時代から二五〇年の後、將軍の座を降りた徳川家は六〇万石の大名として駿府に戻ってきました。そして短い期間でしたが、多くの優秀な幕臣が静岡に集い、静岡学問所、沼津兵学校など当時最も充実した洋学教育の拠点となりました。そこには多くの藩

からの留学生も加わり、ここで学んだ若者達が新しい日本を背負って行きました。

今日、人類はその存亡を賭けて自然環境の保全に立ち上っています。環境保全の最も重要な基本は平和です。戦国時代に今川氏の力で平和な文化都市として栄え、大御所時代に国際都市であった駿府には、平和と文化の豊かな伝統があります。温暖で美しい自然と景観を持ち、豊かな食材のある静岡の将来は、洗練された文化、学問、芸術、先端的技術の開発と伝統的な技の復活といった新しい産業にあると思います。その新しい産業を起す為には、自由な感覚と発想を持つ若者たちを国の内外から集め、支援することがなによりも大切で必要なことであると思っています。

著書のご紹介



250年間もひとつの政権が継続して平和を維持し、また大きな革命なく次の時代へ移行した。このような素晴らしい歴史は日本唯一のものであり、世界から見ると全く不思議で驚嘆すべきことであった。江戸時代とはまさに日本が誇るべき時代なのである。いまこそ見直されるべきものがそこには存在する。

「江戸の遺伝子」

PHP研究所 648円(税別/文庫版)、
1,500円(税別/単行本)

